

平成 20 年 4 月 30 日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 執 行 役 社 長 船 井 哲 良
 (コード番号 6839 東証・大証第一部)
 問 合 せ 先 I R ・ 広 報 部 高 中 直 幸
 (T E L . 0 7 2 - 8 7 0 - 4 3 9 5)

通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 20 年 2 月 4 日の第 3 四半期業績発表時に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正致します。

記

1. 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 1 9 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 0 年 3 月 3 1 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	〔子会社配当 実施前当期 純利益※ i〕	当期純利益
前回発表予想 (A)	279,000	△ 2,100	2,300	〔△ 1,900 〕	△ 7,400
今回修正予想 (B)	277,100	△ 2,410	△ 40	〔 160 〕	△ 5,380
増 減 額 (B - A)	△ 1,900	△ 310	△ 2,340	〔 2,060 〕	2,020
増 減 率 (%)	△ 0.7	—	—	〔 — 〕	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	396,712	20,766	26,591	〔 — 〕	※ ii △ 3,665

※ i 子会社からの配当を実施しなかった場合の当期純利益を示しております。

※ ii 監査・保証実務委員会報告第 63 号「諸税金に関する会計処理及び表示に係る監査上の取扱い」に基づき、追徴税額について「長期仮払税金」を取り崩し、「過年度法人税等」として費用処理した結果の(前期)当期純利益であります。従来の方法によった場合の(前期)当期純利益は 15,518 百万円であります。

2. 業 績 予 想 修 正 の 理 由

第 4 四半期における急激な円高ドル安の進行により、営業外費用で為替差損が 30 億円(通期 20 億円)発生いたしました。これにより経常利益は前回発表予想の 23 億円から、40 百万円の経常損失となる見込みであります。

また、同四半期において特別利益に投資有価証券売却益 52 億円（通期 56 億円）を計上したことにより、当期純損失は前回発表予想より約 20 億円改善する見込みであります。

以上のことから、平成 20 年 2 月 4 日に公表いたしました通期連結業績予想における、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ修正いたします。

(注) 業績予想は、現時点で入手した情報に基づき判断したものでリスクや不確実性を含んでおります。

主要市場である米国をはじめ、海外の経済情勢の変化や製品価格の急激な変化などにより実際の業績見通しと異なることがあります。

以 上